



## 伊勢志摩サミットに向けた訓練の実施

### 消防・救急課

#### 1 はじめに

本年5月26日、27日に三重県で行われた伊勢志摩サミットに向け、消防庁としては関係消防本部、関係地方公共団体等と連携し、サミットに向けた消防特別警戒体制の構築をしていました。具体的には、主会場、首脳・代表団宿泊施設、空港、メディアセンターの重要施設において、関係施設の消防設備の確認、建物ごとの警戒計画などの策定、建物関係者への防火指導等による自主防火体制の強化、建物関係者と消防隊との連携訓練などを行いました。また、広域的な応援態勢の確立により、消防・救急車両・ヘリの増強配置による迅速な出動搬送体制を確保するとともに、社会情勢を踏まえてテロ対応車両・資機材の増強配備等によるテロ対応体制の強化等準備を進めてきました。

そのような中、災害発生時における消防活動等の連携確認訓練の一環として、5月11日、主会場の賢島「志摩観光ホテル ザ・ベイスイート」において、関係消防本部等による災害対応訓練を実施しましたので概要を紹介します。

#### 2 訓練想定等

この訓練は、サミットにおける災害対応に万全を期することを目的として、火災及びNBC災害が発生した際のホテルの自衛消防隊による初動対応、賢島内に待機する消防部隊による消火、救出、救助活動、NBC対応等の一連の流れの確認を主眼として実施しました。「志摩観光ホテル ザ・ベイスイート」のレストランにおいて、何者かが爆発を発生させ、室内にいた要人関係者ら数名がけがをするとともに火災が発生、その後、爆発を発生させた犯人が何らかのスプレーを噴射し複数のけが人が発生したとの想定で行いました。

各隊員は、自衛消防隊との連携要領、はしご車、ポンプ車、NBC対応車両の部署位置、救急搬送に係る救急車の動線、合同で警戒に当たる他本部の消防隊との連携、撒かれた剤の特定作業などのテロ対応要領、ヘリの離発

着位置・情報収集要領等細かな点を確認しました。また、このほかにヘリテレ、ヘリサットの映像確認、ヘリ、救急車の動態管理システムの確認など、サミット当日に活用する作動状況の確認も併せて実施しました。



NBC対応訓練

#### 3 参加者・部隊等

- ・志摩広域消防組合  
消防本部ほか三重県内消防本部、名古屋市消防局、東京消防庁及び京都市消防局の消防部隊等が参加
- ・車両13台（ポンプ車、救急車、化学車、はしご車、特殊災害対応車、指揮車、救助工作車など）、ヘリ1機
- ・ホテル従業員 等



はしご隊による活動状況



## 4 講評等

訓練には、消防庁長官、消防庁消防・救急課長、志摩市長、志摩広域消防組合消防本部消防長、三重県危機管理統括官、三重県防災対策部長、四日市市消防本部消防長が列席し、訓練終了後、消防庁長官が講評を行いました。

## 5 報道対応

当日は三重県内のテレビ局、新聞記者を中心とした国内の報道関係者に加えて、外務省と三重県が共同で実施する海外プレスツアーの一環として、欧米等のテレビ・新聞の報道関係者が参加し、総勢約50名が取材に訪れました。



講評をする消防庁長官

### 消防庁長官講評概要

はじめに、4月14日及び16日に熊本県熊本地方で発生した「平成28年熊本地震」で被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、緊急消防援助隊として現地で災害対応に懸命に取り組んでいただきました消防本部、防災機関の皆様の活動に敬意を表する次第です。

本日は、伊勢志摩サミットの主会場である志摩観光ホテルにおける災害対応訓練を視察させていただき、消防職員やホテル関係者の皆様これまでの取組の成果を確認でき、伊勢志摩サミットにおける消防・救急体制が着実に築き上げられているものと心強く感じております。

テロ災害が発生している国際情勢を踏まえ、政府のサミットにおける警備対策の基本方針に基づき、テロ災害を発生させないよう警戒態勢を強化しているところではありますが、万が一テロ災害が発生した場合の対応には万全を期す必要があります。

消防庁としては、開催地を管轄する志摩広域消防本部、三重県内、愛知県内の消防本部に加え、広域的な応援体制によりサミット警戒における消防・救急体制を構築しているところです。本日の訓練においても、当日、主会場周辺を警戒する応援消防本部の方々も参加し、訓練の指揮や活動をしていただきました。

開催地消防本部の職員と、応援消防本部の職員が一丸となって、国際的な行事の成功のため活動していただくことに感謝申し上げます。

サミット消防特別警戒期間中、警戒にあたる消防職員は全国の消防職員の代表として注目をされることとなりますので、旺盛な職務意欲と高い誇りをもち、任務の完遂に努めていただきたいと存じます。

結びに、伊勢志摩サミット開催まで残り15日と迫ってまいりましたが、皆様が開催に向け消防・救急体制のより一層の強化を図ることで、サミットの円滑に行われることに寄与することを祈念し、講評とさせていただきます。

#### 問い合わせ先

消防庁 消防・救急課  
TEL: 03-5253-7522